



# 志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校  
平成29年度学校だより  
第6号  
平成29年8月30日



## 一人一人の努力、皆の協力、そして笑顔で 充実の2学期を！

日焼けし、ひとまわり大きくなった子どもたちが、学校に戻ってきました。その表情から、夏休みの充実ぶりがうかがえました。子どもたち全員が、無事2学期を迎えられましたこと、何よりも嬉しく思います。保護者・地域の皆様には、長い夏休みの間、子どもたちが水の事故や交通事故に遭うことなく、元気に過ごせるように、多くのご支援やご指導をいただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。

この夏も、世界陸上での日本の選手の活躍に熱くなりました。私は、リレー決勝メンバーアンカーの藤光選手の姿から、「努力は人をうらぎらない」こと、そして、「夢に向かって」仲間が一致団結するとエネルギーが増大することを再確認しました。また、過去に超人的な記録を刻み続けたボルト選手の普段の姿には、人間性がにじみ出ており、「愛」を抱く人の強さが、心に刻まれました。努力や人のために力を注ぐことを惜しまないこと、人を思う姿は、運動会等の行事や学習において、充実の時期となるこの2学期に通じると思います。

始業式では、「命を守る」宿題ができたことをまず褒め、2学期も一人一人が夢や目標に向かって努力すること、そして、その一人一人の努力が輝くよう皆で協力することで、充実した学校生活をつくり、児童会の目標である「笑顔があふれる志楽の子」をさらに目指そうと話しました。

今年も2学期の合い言葉は、「今日は、みそ味」です。お子様から内容を聞いてみてください。また、夏休み前に話した「継続は力なり、小さな勇気で、心のスイッチを押そう」ができたか、振り返りをしっかりとし、明確な自分の目当てを持たせてスタートします。

保護者アンケートや児童アンケート、教職員の学校評価にもあがっていた「高学年が低学年の面倒をよくみている」などの子どもたちのよさを大切に、教職員が一丸となって一人一人の力を高められるよう力を尽くす所存です。

夏休み中には、体育館屋根と本館非常階段の塗装工事、そして、教室・廊下のワックスがけ、また、志楽川に架かる木の橋の補修工事が行われました。気持ちよくなった校舎で学びを充実していきます。まだまだ暑い日が続きます。一日一日を大切に一人一人が自分のよさを発揮できますよう、2学期も引き続き、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

校長 村川 広美  
教職員 一同

日々新たに...

☆ 今年、四つの巣からツバメが巣立ちました。住まいの成長が気になります。鳥降

先週の運動会も盛り上がりました。幸いにも暑い日が続きます。志楽

☆ 夏休み、学校の図書室を開館しました。子どもたちの読書活動が盛んに行われました。

読書活動が盛んに行われました。子どもたちの読書活動が盛んに行われました。

☆ 出会った詩から樹は、おのずから育つ。

「根を養えば、樹は、おのずから育つ。」

「根気・根性・性根」  
それが人間を決定する。  
つづけるのはほんものになる。



「一つの所に力を集めてがんばることを『一生懸命』という  
指の先の小さい力でも針の先の一点に  
集まると固いものを貫く力になる  
君の力を一点に集中してがんばれば  
どんなことだってできる」

東井 義雄

